大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F111310102094	設置等組織名	理学部情報数理学科
大学名	城西大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	埼玉	事業計画名	城西大学理学部情報数理学科の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	■新学科設置の検討 1-① 令和5年4月 数理系新学科創設準備委員会設置 1-② 令和5年5月～ 競合する大学の類似学部・学科の設定と分析を実施 1-③ 令和5年9月 情報数理学科人材育成懇談会設置 1-④ 令和5年10月～ 情報数理学科の養成する人材の企業等ニーズ調査開始（懇談会参加企業、理学部卒業生就職先等を予定） ■新学科の学生確保の見通し 1-⑤ 令和5年6月 学生確保の実績の分析および学生確保に向けた具体的な取組を行うための組織を設置 1-⑥ 令和5年10月～ 新学科の学生確保の見通し調査（外部委託によるアンケート調査）を実施 1-⑦ 令和5年10月～ 新学科の広報開始、ホームページやパンフレット、受験生向けポータルサイトへの広告出稿開始 ■東京紀尾井町キャンパス3号棟新築工事 ~~2前-① 令和5年10月～令和6年1月 基本設計~~（R7.3.28承認） ~~2前-② 令和6年2月～5月 実施設計~~（R7.3.28承認）	■新学科設置の検討 1-① 令和5年4月 数理系新学科創設準備委員会設置できず 1-② 令和5年5月～ 競合する大学の類似学部・学科の設定と分析を実施 1-③ 令和5年9月 情報数理学科人材育成懇談会設置できず 1-④ 令和5年10月～ 情報数理学科の養成する人材の企業等ニーズ調査開始（懇談会参加企業、理学部卒業生就職先等を予定） ■新学科の学生確保の見通し 1-⑤ 令和5年6月 学生確保の実績の分析および学生確保に向けた具体的な取組を行うための組織を設置 1-⑥ 令和5年10月～ 新学科の学生確保の見通し調査（外部委託によるアンケート調査）を実施 1-⑦ 令和5年10月～ 新学科の広報開始、ホームページやパンフレット、受験生向けポータルサイトへの広告出稿開始 【改組内容】 令和5年12月 収容定員60人から80人の増加申請	令和5年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 新学科の立ち上げに向けて協議は行ってきたが、令和5年4月には正式な委員会を立ち上げるには時期尚早で、ある程度メンバーや内容が具体的になってから「情報数理学科設置準備室」と名称を変更し、令和6年4月に正式な形で設置した。情報数理学科人材育成懇談会については、設置申請前で十分議論出来なかったが、今後、官公庁、自治体、企業等と協力しながら準備を進める。
令和6年度	■新学科設置の検討 1後-① 令和6年4月～ 情報数理学科の養成する人材の企業等ニーズ調査継続 ■新学科の学生確保の見通し 1後-② 令和6年4月～ 新学科の広報、ホームページやパンフレット、受験生向けポータルサイトへの広告出稿 ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 ~~2-① 令和6年4月～7月 地上解体工事~~（R7.3.28承認） 2-② 令和6年6月～8月 入札・契約 ~~2-③ 令和6年9月～令和7年3月 新築工事（地下解体含む）（1年目）~~（R7.3.28承認） 2前-① 令和7年3月～9月 基本設計（R7.3.28承認）	■新学科設置の検討 1-① 令和6年4月「情報数理学科設置準備室」設置 1-② 令和6年4月～ 情報数理学科カリキュラム検討 1-③、1後-① 令和6年8月～「紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアム」設置に向けて企業と協議開始 1後-① 令和6年11月～ 千代田区とデータサイエンス分野の推進に向けた取組みの協定へ向けて協議開始 1後-① 令和7年1月～ お茶の水女子大学と文理融合データサイエンス教育に関して協議開始 1-③、1後-① 令和7年2月「紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムWG」設置 1後-① 令和7年2月 お茶の水女子大学と文理融合データサイエンス教育に関する協定締結 ■新学科の学生確保の見通し 1後-② 令和6年3月～7月 Yahoo広告掲載 1後-② 令和6年4月 スタディサプリプレミアム（WebDM）発送、スタディプラス（WebDM）発送 1-⑥ 令和6年5月～ 高校訪問の実施 1後-② 令和6年7月～ AERAに広告掲載（10月、11月、12月、1月、3月） 1後-② 令和6年7月・8月 Guideline（河合塾進学情報誌）巻頭カラー掲載 1後-② 令和6年8月～ APP配信 1後-② 令和6年9月 ポスター発送 1後-② 令和6年11月 産経新聞埼玉・北関東版前面広告掲載、「大学受験 いざ、挑戦！」（進学カタログ）掲載、Google DSP広告掲載 1後-② 令和6年12月 情報数理学科特設サイト開設、進研模試デジタルサービス大学PR企画広告、「大学探しランキングブック」掲載、マイナビ進学広告掲載 1後-② 令和7年1月 Kei-Net（河合塾大学入試情報サイト）広告掲載、毎日新聞広告掲載 1後-② 令和7年2月 シーサイドストーリー（産経広告社）掲載 1後-② 令和7年3月 フロムページ広告掲載 ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 2-② 令和6年6月 理事会にて随意契約を承認 2-② 令和6年10月 基本計画業務に関する契約締結	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 令和6年度に新校舎の工事を実施する予定であったが、都内再開発事業、全国的な半導体整備事業、データセンター整備などの昨今の建設需要の高まりにより、ゼネコン及び電気、機械設備などのサブコン業者の請負協力の合意が得られず、令和6年度内の工事着工が困難となった為、フェーズ2が大幅に遅れたが、令和6年7月から基本計画を進めている。
令和7年度	■理学部情報数理学科 開設 3-① 令和7年6月 新学科創設記念シンポジウムの開催 3-② 令和7年6月～ 高校訪問による広報活動開始（4年間継続） 3-③ 令和7年8月～ 高校生を対象とした情報数理サマースクールを実施（年2回、令和10年8月まで8回開催） ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 ~~2後-④ 令和7年4月～令和8年7月 新築工事（2年目・3年目）~~ 2-① 令和7年4月～令和8年11月 地上・地下解体工事（R7.3.28承認） 2前-② 令和7年10月～令和8年8月 実施設計（R7.3.28承認）	■理学部情報数理学科 開設 3-① 令和7年6月 新学科創設記念シンポジウムの開催 3-② 令和7年6月～ 高校訪問による広報活動開始（4年間継続） 3-③ 高校生を対象とした体験実習、模擬講義をオープンキャンパス時に併せて7/19、8/2、8/23に実施 3-④ 紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムの創設（令和8年5月予定を令和7年6月に創設） ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 2-① 令和7年4月～令和8年6月 地上・地下解体工事（R7.3.28承認） ②前-① 令和7年5月～10月 基本設計（R7.3.28承認） ②前-② 令和7年11月～令和8年6月 実施設計（R7.3.28承認）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 予定通り新学科創設記念シンポジウムを開催し、高校訪問による広報活動、高校生を対象とした体験実習、模擬講義を行うとともに、紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムを前倒しで創設した。東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事に関しても、年度の事業計画に沿って進めている。
令和8年度	3-④ 令和8年5月 紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムの創設 ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 ~~2後-③ 令和8年7月 紀尾井町新5号棟竣工~~（R7.3.28承認） ~~2後-③ 令和8年8月 什器の搬入及びAVシステム等の設置~~（R7.3.28承認） 2-② 令和8年12月～令和9年3月 新築工事（1年目）（R7.3.28承認）		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	3-⑤ 令和9年8月～ 国際インターンシップを2回実施（令和10年8月にも実施） ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 2後-① 令和9年４月～令和10年3月 新築工事（2年目）（R7.3.28承認）		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	3-⑥ 令和10年4月～ 社会人を対象としたリカレント教育を開始 ■東京紀尾井町キャンパス3号棟増築工事 2後-② 令和10年4月～令和10年12月 新築工事（3年目）（R7.3.28承認） 2後-③ 令和10年12月 竣工（R7.3.28承認） 2後-④ 令和11年1月 什器の搬入及びAVシステム等の設置（R7.3.28承認）		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和5年12月 収容定員の総数の増加（20人） 認可申請予定 令和6年4月 理学部情報数理学科 学科の設置届出予定	令和6年8月 理学部情報数理学科 学科の設置届出 令和7年3月 理学部情報数理学科 入学定員増（20名増）に係る認可申請 ※令和8年4月より入学定員20名増 令和7年3月 薬学部薬学科収容定員変更に係る認可申請 ※令和8年4月より入学定員50名減 令和7年4月 現代政策学部社会経済システム学科を総合政策学部総合政策学科に名称変更届出 ※令和8年4月より 令和7年6月 上記、理学部情報数理学科収容定員変更に係る認可申請「不可」判定 令和7年8月 理学部情報数理学科収容定員変更の届出 ※令和8年4月より入学定員20名増（総収容定員に変更なし） 令和7年8月 総合政策学部総合政策学科収容定員変更の届出 ※令和8年4月より入学定員10名減（総収容定員に変更なし） 令和7年8月 理学部化学・生命科学科収容定員変更の届出 ※令和8年4月より入学定員10名減（総収容定員に変更なし）	
定員減又は 学部等の廃止	令和7年4月 理学部数学科60人減員に係る届出予定 令和7年4月 薬学部薬学科60人減員に係る届出予定	令和7年3月 薬学部薬学科50人減員に係る認可申請（入学定員200人、編入学定員若干名、薬学関係） 令和7年8月 理学部化学・生命化学科10人減員に係る届出（入学定員80人、編入学定員若干名、理学関係） 令和7年8月 総合政策学部総合政策学科10人減員に係る届出（入学定員240人、編入学定員若干名、総合政策学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	城西大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通した教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報数理学科（仮称）においては、設置構想段階より学長のリーダーシップの下で「数理系新学科創設準備委員会」を設置し、本学理学部数学科の強みと新たな教員候補者の強みを掛け合わせた教育研究のあり方について検討を重ねてきた。数学を基礎に、データや情報に関わる社会の課題の抽出とその解決を強く意識した課題解決型の教育を行うことを教育研究の柱とし、他大学での教育経験者および複数人の実務家教員の新規採用を行う。「情報数理学科人材育成懇談会」を通じ、近隣の世界的なIT企業を含む情報系企業、官公庁、自治体等のネットワークを構築し、それらのメンバーから非常勤講師等の派遣を要請する。企業等が提示する実社会の課題を反映したデータをPBL形式で学ぶ「課題解決ゼミナール」や、最先端の知見を学ぶための「情報数理特論」、その他PBL形式の演習科目を設ける予定である。また将来的には、自走化のために紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムを結成し、近隣にある企業、公的機関、大学と教育研究面で連携する体制を整える。統計数理研究所とは、本学キャンパス内のサテライトオフィスの設置など具体的な連携の構想の議論を始めている。	企業８社（ウイングアーク1st株式会社、夢科情報株式会社、TDCフューテック株式会社、株式会社東和コンピュータマネジメント、トーテックアメニティ株式会社、株式会社トライサーブ、株式会社ノーチラステクノロジーズ、株式会社マープル）ならびに千代田区と協定を結び、申請時に計画していた「紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアム」を立ち上げた。それを受けて、紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムの広報用の Web ページを作成して公開するとともに、企業や自治体と連携した科目の一つとして企業および自治体での2週間以上のインターンシップに単位を出す「インターンシップⅠ・Ⅱ」の運営方に関して、コンソーシアムメンバーと協議を行い、学生に科目の説明会を行った。インターンシップⅠ・Ⅱに関しては、地方の企業、自治体でのインターンシップ受け入れの了承も得ている。また、関連分野に強みを持つ地域の大学である お茶の水女子大学と「文理融合データサイエンス教育に関する覚書」を交わし、教材の共有を図っている。2025年6月8日に城西大学紀尾井町キャンパスで開催した情報数理学科設立記念式典では、お茶の水女子大学の教育改革・入試改革担当の曽雌学長からの祝辞およびコンソーシアムメンバーの紹介を行った。	2025年4月から情報数理学科として学生の受け入れが始まり、2026年4月からは2年となったが、「インターンシップⅠ」は2年後期から、「インターンシップⅡ」は3年からの実施を想定しており、実際に多くの学生がインターンシップへ行くのは2027年度になると想定しており、まだ実施されていない。企業との連携を想定する「情報科学特別講義」、「統計・データサイエンス特別講義」も4年生の実施を想定していることから、年次進行で実施していくことになる。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
アドミッションポリシーに基づき、総合型選抜、一般選抜等の科目の見直しを行う予定である。特に高校の学習指導要領の変更に対応した入試の初年度であることに鑑み、科目の軽量化、必要な科目の重点化等の検討を慎重に行い、受験生に過度の負担を強いることなく、かつ入学後の学習に十分に対応できるような学力を有した学生確保が必要であると考える。そのために、情報系や統計の民間資格等を評価項目に加えること、数学の科目変更等を、入学前教育と合わせて検討している。また、近隣の中学高校を対象にした出張授業を実施し、地域の学校との連携を深める。女子の理系進学のニーズが高まっているが、東京紀尾井町キャンパス周辺には女子高校も多いため、出張授業に加えて、オープンキャンパスの際に女子中高生向けの企画を設け、女子学生の確保に努める計画である。紀尾井町は企業集積度が極めて高く、データサイエンスの教育を基礎から受けたいという社会人からのニーズが高いと考えられる。社会人が参加しやすい形でリカレント教育やリスキリング教育を行うことも検討している。海外からの入学者の確保に関しては、海外広報を積極的に行い、書類選抜推薦型のアドミッション方式による、渡日を要求しない形での入学試験の実施も検討している。	2026年度入学者選抜においては、共通テスト利用選抜Ⅰ期の方式変更および Ⅱ期の新設により、当該選抜を通した入学者数の増加が確認された。これらの成果を踏まえ、2027年度入学者選抜では、共通テスト利用選抜ならびに総合型選抜をより一層充実させる方針とする。共通テスト利用選抜Ⅰ期については、出題科目を「数学Ⅰ」「情報」、または「数学Ⅰ」「数学Ⅱ・B・C」を含む複数の区分に再編し、受験者にとって理解しやすい選抜制度へと整備することで、本学の教育理念との整合性を維持しつつ、多様な志願者層への訴求力を高める。さらに、新たに共通テスト利用選抜Ⅱ期を設置する。総合型選抜においては、従来実施してきた課題レポートを廃止するとともに、学力重視型のB日程を新設し、多様な受験生の受け入れを可能とする選抜制度へと見直す。また、数学・情報・統計分野に関連する民間資格および国家資格の取得者については、出願書類審査および面接審査（口頭試問）を通じて、多面的に評価する現行方針を引き続き維持する。夏季休業期間中に実施する全３回のオープンキャンパスでは、体験実習や模擬授業を企画し、本学の教育内容や学修環境への理解促進を図るとともに、入学者確保に向けた積極的な情報発信を行う。2026年度における女子学生の入学者比率は約12%となり、前年度を下回る結果となった。これを踏まえ、2025年度に引き続き、本年8月には科学研究費助成事業の支援を受けた体験型プログラム（ひらめき☆ときめきサイエンス）「折り紙で作るかたちの数理～折り図から設計してみよう～」を実施する予定であり、首都圏に在住する女子学生を主な対象とした広報活動を展開していく。さらに、高大接続の強化を目的として、2025年度には学科所属教員による出張授業を12件実施した。2026年度は5月時点で、首都圏の高等学校を対象とした模擬授業、体験会、説明会を計4件（うち1件は実施済み、東京都3件、埼玉県1件）予定しており、今後も首都圏を中心に、教育活動の積極的な発信を継続していく。	社会人学生の受け入れについては、現時点において特段の制度的措置は講じていないものの、紀尾井町AI・データサイエンスコンソーシアムに関する実施内容の具体化が一段と進展しており、企業等との連携を視野に入れながら、今後も継続的に協議・検討を行っていく予定である。また、海外からの入学者の確保に関しては、新たな留学生入試の実施方法に関する具体的な運営体制は未整備の段階にあるが、情報発信を中心とした広報活動は引き続き実施していく。2026年度外国人留学生入試においては志願者数の増加が見られることから、志願動向を注視するとともに、状況に応じた適切な方策の検討を進めていく。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	城西大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和5年度	実施状況報告書指摘事項	当初に計画していた委員会や懇談会の設置に遅れが生じている。新学科設置に向けた検討を早期に行い、設置準備を進めること。	新学科は理学部情報数理学科として、2024年10月22日付けで文部科学省より設置届が受理されました。「数理系新学科創設準備委員会」につきましては、令和6年4月に名称を改め「情報数理学科設置準備室」として設置済みで、新学科開設に向けた準備を行っています。また、「情報数理学科人材育成懇談会」については、既に複数の企業と連携に関して調整を行なっています。さらに、大学、自治体との連携に関しても、本学は平成26年1月21日に千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定に加盟しています。この基本協定に「区内大学と区が連携協力して行う事業は、この基本協定に基づき、個別事業ごとに担当する部署が協議して行うものとし、必要があるときは、個別の連携協力組織の設置や協定の締結等を行うものとする」という条項があり、現在、千代田区と情報数理学科が協定を締結できるように調整を進めています。 【情報数理学科特設サイト】https://www.josai.ac.jp/info-special/

大学名	城西大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	理学部情報数理学科（理学関係）

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	届出	開設	増員															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	60	80															
		編入学定員	人	-	-	0	0															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	60	80															
		入学者数	人	-	-	53	67															
		女子学生数	人	-	-	12	8															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	2	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	0	0															
		入学者数	人	-	-	0	0															
		女子学生数	人	-	-	0	0															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	60	80															
		入学者数(B)	人	-	-	53	67															
		女子学生数	人	-	-	12	8															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	2	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.88	0.84															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	60	140															
		編入学定員	人	-	-	0	0															
		在籍者数(D)	人	-	-	53	117															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.88	0.84															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	5	7															
		授業科目の単位数	単位	-	-	16	33															

大学名	城西大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	210	210	210	220															
		入学者数	人	198	213	200	253															
		女子学生数	人	42	56	50	61															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	4	2	3															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
		女子学生数	人	0	0	0	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	210	210	210	220															
		入学者数(B)	人	198	213	200	253															
		女子学生数	人	42	56	50	61															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	4	2	3															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.94	1.01	0.95	1.15															
	収容定員等	収容定員(C)	人	840	840	840	850															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	824	818	783	822															
		編入学者数	人	0	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.98	0.97	0.93	0.97															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	174	196	179																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	19	23	19	18															
		授業科目の単位数	単位	152	166	123	92															

大学名	城西大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1660	1660	1660	1610															
		入学者数	人	1582	1407	1471	1603															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,660	1,660	1,660	1,610															
		入学者数(B)	人	1,582	1,407	1,471	1,603															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.95	0.85	0.89	1.00															
	収容定員等	収容定員(C)	人	7140	7140	7140	7090															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	6948	6598	6465	6418															
		編入学者数	人	23	15	11	14															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.97	0.92	0.91	0.91															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定		開設	増員										
項目	単位																		
外部資金獲得額	千円	199,494	212,641	289,796	279,077	231,928	250,965	217,356	281,818										

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	241,216
本事業による助成金の額(F)	千円	514,550
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	254,079

特記事項

編入学定員の0人は若干名を意味している。